クボタショックから15年

2005年（平成17年）6月に“クボタショック”がありました。

多くの人たちが、アスベスト（石綿）による深刻な健康被害が全国で進行していることを初めて知りました。

それから15年、毎年2000人近い労災・救済法認定患者（中皮腫、肺がん、石綿肺など）が出ており、残念ながら、事態はいよいよ深刻化しています。

アスベストを目で見る

写真展

尼崎市総合文化センター 2F
ギャラリーアルカイック

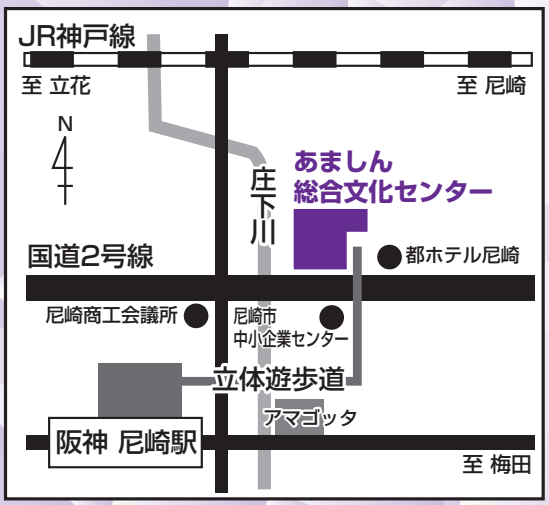
無料

アスベストの真実を語った人びと

6月19日（金）～21日（日）

AM10時～PM4時

片肺で（中皮腫）でサックスを吹く



尼崎市総合文化センター 2F　ギャラリーアルカイック
（阪神尼崎駅東北へ５分、国道沿い）

ノンアスベスト社会の実現を！

中皮腫 アスベスト疾患 患者と家族の会（尼崎支部）
尼崎労働者安全衛生センター
〒660-0802　尼崎市長洲中通１−７−６
TEL・FAX 06（4950）6653
Eメール　a4p8bv@bma.biglobe.ne.jp

協賛　中皮腫・じん肺・アスベストセンター　TEL 03(5627)6007